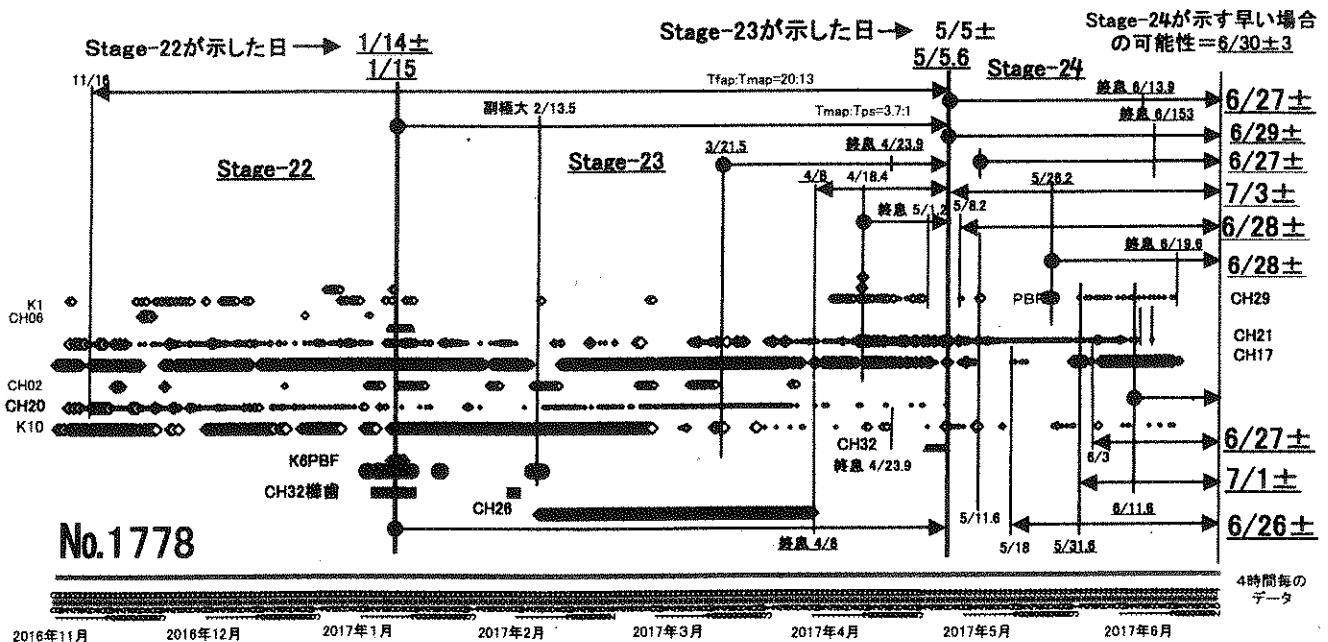
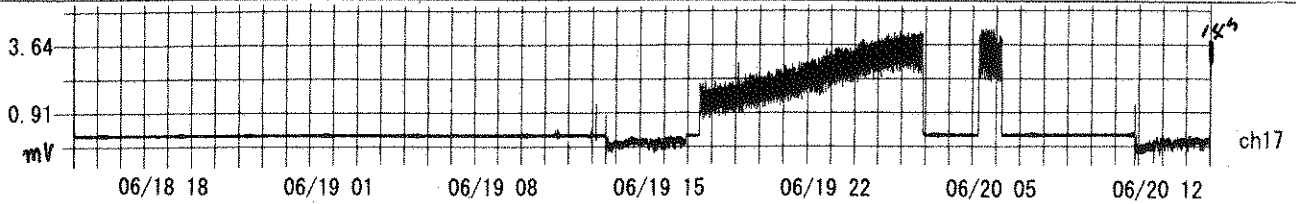


原稿校了後の前兆変化について

八ヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254
Astronomical Observatory: SINCE 1985 Earthquake Forecast Observation & Research: SINCE 1995

No.1778 長期継続前兆現況報告 CH17特異 断続的継続 6/23=否定



6/16の観測情報で、6/27±の他、6/23±の可能性も考えられることを報告、但しこの時点では6/27±の方が考え易いとなりました。しかし、CH21が完全静穏化している点等から再度検討し、6/18の観測情報では6/23±の可能性が否定できないことを報告致しました。

但し、6/23発生の場合には、本日6/20午前にCH17特異が終息することが計算されていました。しかし、上波形のとおりCH17は昨日夜～本今朝まで、約11時間近く静穏基線を記録しましたが、再び特異状態となっています。現在は本日午前11時頃より完全系状態ではなく僅かな幅をもった基線を記録しています。本日午前に完全静穏化しなかったことから、6/23発生の可能性は合いません。上図記入の様々な可能性を検討した結果6/30±3の可能性が考えられます。左枠内に6/27～7/3期間に発生の場合の各前兆終息時期を計算しました。実際の終息を観測し続報させて戴きます。

【6/11.6種大認識に対する前兆終息】
 6/23.4終息の場合⇒6/27発生の可能性
 6/24.1終息の場合⇒6/28発生の可能性
 6/24.9終息の場合⇒6/29発生の可能性
 6/25.6終息の場合⇒6/30発生の可能性
 6/26.4終息の場合⇒7/1発生の可能性
 6/27.1終息の場合⇒7/2発生の可能性
 6/27.8終息の場合⇒7/3発生の可能性

- ◆推定領域：下図 点線領域=大枠 太線領域内=可能性高い
※ある程度火山に近い領域の可能性有
(※影響局認識の場合は福島付近となるが下図領域が考え易い)
- ◆推定規模：M7.8±0.5 (震源浅い陸域日本列島地殻地震)
- ◆推定時期：実際の前兆終息を観測後計算予定
現状考え易い可能性=6月30日±3
- ◇推定発生時刻：午前9時±1時間 (又は午後6時±3時間)

